

【授業実践振り返りカード】

学校名 本郷小学校	学年 1 年
授業者氏名 横井 聡	
題材名 なんじ・なんふんで、歯みがきのじこくをつたえあおう	
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 時計の「なんじ・なんじふん」の学習をしている子どもたちが、歯みがきをする時刻をより詳しく表すことができることに着目し友だちの歯みがきの時刻を聞きあうことを通して、時刻と日常生活が密接に関わっていることに気づくことができる。	
学習材 教科書 プリント「歯みがきの じこくしらべ」	
成 果 9月に実施した「なんじ・なんじはん」を使った歯みがきの時刻調べの発展として、「なんふん」で表すことを意識して実施した。 子どもたちは、「ふん」を使うと、より自分の日常生活の時間を表現できることに気づき、「1じ2ふんに歯を磨いたよ」と細かく時計を意識するような姿も現れた。 友だちと比較し、「早い時間だね」「けっこう遅いね」「一緒だね」と語らいながら、時刻を紹介することができた。子どもたちの中には、比べた相手の名前を記している子も多く、相手意識も感じられた。	
課 題 今後、2学年でも午前・午後等の学習の際に実践できそうである。 その際は、食事の時刻と歯みがきの時刻を並べて、食後の歯みがきの時間を意識できるようにするのも良いと思われる。	

【授業実践振り返りカード】

学校名 本郷小学校	学年 2年
授業者氏名 星野こず恵	
題材名 歯肉炎を予防する歯みがきの仕方を学ぼう。	
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 学校歯科医の三井先生のお話で、「むし歯より歯肉炎が心配な子が多かった」と聞いた子どもたちが 自分の歯肉の様子や日々の歯みがきの仕方に着目し、 養護教諭に歯肉炎について話を聞いたり、かがみで歯肉を確認しながら歯肉炎予防の歯みがきの仕方を体験したりすることを通して、 むし歯だけでなく歯肉にも注意しながら歯みがきをしようとすることができる。	
学習材 歯肉炎の特徴や歯肉炎が進行した際の口腔内の様子がわかる画像 手鏡	
成 果 学校歯科医の三井先生の話聞いて、これまで、むし歯のことばかり気にしていた子どもたちは、歯肉炎について「むし歯は痛いからわかるけど、歯肉炎はどうなったときをいうんだろう。」と疑問をもった。そこで、養護教諭に歯肉炎について焦点をあてて指導をしていただいた。健康な歯肉と歯肉炎の様子を比べながら「歯肉の色」「歯と歯茎の間の形（三角だといい）」「歯肉のかたさ」「歯みがきをしたときに血が出る」などのポイントに気づくことができた。また、実際に歯肉を意識した歯みがきを教えていただき、手鏡で確認しながら磨くことで、よりよい歯みがきをしようという気持ちが高まった。	
課 題 学習した日の給食後の歯みがきは、磨き方を意識して丁寧に磨く子が多かった。丁寧な歯みがきを継続できるように、定期的に手鏡を見ながら、自分の歯みがきを見返す場を設けていきたい。	

【授業実践振り返りカード】

学校名 本郷小学校	学年 3年
授業者氏名 塩澤佑樹	
題材名 「ひまわり油を使った歯にいい食べ物」	
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 総合的な学習の時間を通してひまわり油を搾った子どもたちが、ひまわり油を使った歯の健康によい食事に着目し、自分たちが考えた調理方法で調理することを通して、食事から歯の健康を向上させようとする視座を培うことができる。	
学習材 ひまわり油	
成 果 ・ 普段から給食で出される「かみかみメニュー」から着想を得て、食パンやバケットにつけて食べたり、クッキーにして食べたりするという、「よく噛む」ということを意識した調理方法を考えられた。	
課 題 ・ 春休みに入ることで、家で過ごすことが多い生活が始まるため、春休みに入っても歯を健康に保つための行動(歯みがき、咀嚼、間食の調整等)が位置付けられるよう、取り組んでいく必要がある。	

【授業実践振り返りカード】

学校名	本郷小学校	学年	4年
授業者氏名 守屋 久美			
題材名 調べて話そう 生活調査隊 ！			
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。			
主 眼 歯と口の健康のためによい習慣や歯みがきのこつ等について学んできた子どもたちが、実際にどのくらいの人が歯や口の健康を意識した生活をしているのか、学級の実態を調査することを通して、明らかになったことをグラフや表にまとめたり聞き手にわかりやすく伝えたりすることができる。			
学習材 ・生活調査アンケート ・結果をまとめた表やグラフ			
成 果 パタカラ体操の効果や、カルシウムを多く含んだ食べ物の摂取、ポイントを意識した歯みがきなどが、健康や成長によいということはわかっているけれど、実際に普段の生活に生かしきれていない実態が、アンケート結果から見えてきた。例えば、パタカラ体操を普段の生活の中で続けている人は、学級の半分の人数。この実態をふまえて、自分たちはどうするか、生活を見直す機会となった。参観日に合わせた授業でもあったため、保護者の方々に学びや実態を知っていただくことで、家族を巻き込んで今後も健康を意識した生活を大事にしていこうと呼びかける機会にもなった。			
課 題 すぐに効果は実感できなくとも、継続していくことが健康な体づくり、よりよい成長につながっていくということを学ぶ機会を、今後も工夫を重ねながら設けていくことが大事だと改めて感じた。			

【授業実践振り返りカード】

学校名 本郷小学校	学年 5 年
授業者氏名 清水 友貴子	
題材名 本郷小の歯の状態についてグラフにしてみよう	
主 眼<フォーマット> ○○について学んだ (or 体験した・調査した) 子どもたちが (既習や経験)、○○に着目し (健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方)、○○することを通して (本時の中核的な学習活動)、○○する力 (育成する資質・能力) を培うことができる。	
主 眼 算数「割合のグラフ」の表し方を学習した子どもたちが、歯科医の講話で聞いた本郷小のむし歯や歯肉炎の人数や割合に着目し、実際のデータを使って自分たちで実際に割合を出したりグラフ化したりすることを通して、学校の現状を自分事として捉え改善していこうとする意欲を育てることができる。	
学習材 今年度の歯科健診結果のデータ	
成 果 ・実際のデータをもとに割合を求め、グラフ化することで本郷小の実態が目に見え、自分事としてとらえることができた。 ・今後の児童会活動の企画により前向きに取り組もうとしていた。	
課 題 ・	

【授業実践振り返りカード】

学校名 本郷小学校	学年 6年2組
授業者氏名 小林 未夢	
題材名 給食後の歯みがき何人してるかな？	
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 歯みがきの重要性について学んだ子どもたちが、お昼休みのクラスの歯みがきの実施人数に着目して、何名がしているのか調べることを通して、クラスの全員が給食後の歯みがきができるようにする力を培うことができる	
学習材 何名歯みがきしているのかチェック	
成 果 調査の結果、その日はたった1人しか歯みがきをしていないことに気づき、これはまずいと考えた子どもたちが、進んで給食後に歯みがきをするようになった。また、給食を食べ終わっても歯をみがいていない友だちに対して声がけをするようになった。	
課 題 給食を食べるスピードの違いによってお昼休憩の長さが異なり、ゆっくり給食を食べる子は、歯みがきの実施時間を確保できない児童がいる。	